

「健康であることは奇跡」

いちき串木野市立羽島中学校三年

野村元暉のむらげんき

健康であることは、当たり前のことなので
でしょうか？僕は、小さい頃の経験を通して考
えてみることにしました。

僕が四歳の時、母の大切な腎臓を一つもら
う、大きな手術を受けました。「四歳で腎臓
移植をする」ときくと、とても重篤であつた
と思われるかも知れません。しかし、実際は、
今の僕と同様、とても元気に過ごしていたそ
うです。

四歳になったある日、通っていた大学病院
の先生の紹介で、東京の大学病院に行くこと
になりました。顔合わせで行つたはずなのに、
急遽手術を勧められ、母は大変困惑したそう
です。先生に理由を尋ねると、
「小学校の六年間は、人生においてとても大
切だと私は考えます。元暉君に、その時間を
元気に過ごしてもらいたいです。」
と、意外なことを言われ、思慮深い言葉に家
族は感激したときいています。

僕自身、手術のことを覚えていませんが、
十年経過した今でも、何事もなく元気に過ご
せています。「健康であること」が当然のこ
とのように思っていました。そんな僕の考
えを変える出来事がありました。

移植後十年を迎えたある検診日、主治医の
先生から、当時を振り返るお話がありました。
「あらかじめ予定された手術のスケジュール
の合間に、新たなオペを挿入するということ
は、非常に稀なことであり、スタッフの調整

もすぐく大変だつたと思います。本当に普通
では考えられないことですよ。」

その話をきいて、何回お礼を言っても伝えき
れないほどの感謝の気持ちと、驚いた気持ち
で、僕の心はいっぱいになりました。

更に僕は、腎移植について調べてみました。
そこで分かったことは、
・臓器移植の中で、腎移植希望者が一番多い
ということ。

・腎移植待機者が手術を受けるまでに待つ期
間は、約十五年もあるということ。
その理由は、待機者に対するドナー登録者
が少なく、両者の適合も困難で、その上、特
に小児の場合は、手術できる病院が限られて
いる為です。年間に移植を受けることができ
るのは、希望者の約一・七パーセントと、か
なり少ない数字に、衝撃を受けました。

これらのことから、僕は恵まれていること
に気づきました。先生方との出会い・出会っ
たタイミング・母の腎臓との適合など、たく
さんの奇跡が重なって、今こうして生きてい
られるんだなあ、と強く実感しています。
健康な状態にある時は、なかなか気づくこ
とのない、健康であることのありがたさ。

「健康に生活できることは、決して当たり前
のことではない」
これは、全ての人に当てはまることだと思ひ
ます。これからは、もっと意識を高め、感謝
の気持ちを忘れず、歩んで行きたいです。